

団体名：アジア太平洋トレードセンター株式会社
所管局：経済戦略局

資料 1
公開

概 況

○令和 6 年度の経営状況について （金額の単位は百万円）

売上高	6, 521	前年度比	262
営業利益	1, 963	前年度比	272
当期純利益	1, 349	前年度比	109

入居率 令和 6 年度末現在 全体 9 6. 9 %（オフィス 9 6. 3 %、商業 1 0 0. 0 %）
（ 令和 5 年度末現在 全体 9 2. 4 %（オフィス 9 2. 0 %、商業 9 4. 2 %））

○令和 6 年度決算

（ 1 ） 前年度決算比 （単位：百万円）

	6 年度決算 ①	5 年度決算 ②	増減 ①－②	増減説明
売上高	6, 521	6, 259	262	賃貸収入：+330、駐車場収入：+39、共用部使用料：+21 水道光熱費売上：+18、貸館収入：▲172
営業費用	4, 557	4, 568	▲ 11	広告・販促費：▲161、業務委託費：+56、水道光熱費：+37 減価償却費：+36、修繕費：+28
営業利益	1, 963	1, 691	272	
税引前当期純利益	1, 690	1, 540	150	【営業外収益】▲15（雑収入：▲27、補助金収入：+10） 【営業外費用】+59（支払利息：+57） 【特別損失】 +48（固定資産除却損）
法人税等	332	288	44	
法人税等調整額	8	10	▲ 2	
当期純利益	1, 349	1, 240	109	

（ 2 ） 当年度予算比 （単位：百万円）

	6 年度決算 ①	6 年度予算 ③	増減 ①－③	増減説明
売上高	6, 521	5, 951	570	貸館収入：+206、賃貸収入：+202、駐車場収入：+51、 水道光熱費売上：+54、物品使用料：+52
営業費用	4, 557	4, 618	▲ 61	修繕費：▲56、広告・販促費：▲34、消耗品費：▲21 業務委託費：+43、水道光熱費：+18
営業利益	1, 963	1, 333	630	
税引前当期純利益	1, 690	1, 140	550	【特別損失】 固定資産除却損：+77
法人税等	332	131	201	
法人税等調整額	8	37	▲ 29	
当期純利益	1, 349	972	377	

○当期資金残高（中期経営再建計画における事業経営に関する目標）（単位：百万円）

計画名称	中期経営計画			計画期間	R7年度～R9年度	
指標	前計画最終年度	計画初年目	計画 2 年目	計画 3 年目	計画 4 年目	計画 5 年目
	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	－	－
目標	4, 187	5, 185	4, 939	4, 692	－	－
実績	5, 219	－	－	－	－	－

○令和 7 年度予算

（単位：百万円）

	7 年度予算		6 年度決算		増減	増減説明
	④	売上高に 対する構成比	①	売上高に 対する構成比	④－①	
売上高	6, 316	100. 0%	6, 521	100. 0%	▲ 205	賃貸収入：▲231、共用部使用料：▲43 水道光熱費売上：▲33、駐車場収入：▲18 貸館収入：+112
営業費用	4, 987	79. 0%	4, 557	69. 9%	430	修繕費：+191、広告・販促費：+162 減価償却費：+25、業務委託費：+19
営業利益	1, 329	21. 0%	1, 963	30. 1%	▲ 634	
税引前当期純利益	1, 196	18. 9%	1, 690	25. 9%	▲ 494	【営業外収益】▲21（雑収入：▲10、補助金収入：▲9） 【営業外費用】▲30（雑損失：▲16、支払利息：▲13） 【特別損失】 ▲130（固定資産除却損）
法人税等	192	3. 0%	332	5. 1%	▲ 140	
法人税等調整額	0	0. 0%	8	0. 1%	▲ 8	
当期純利益	1, 003	15. 9%	1, 349	20. 7%	▲ 346	

団体名： アジア太平洋トレードセンター株式会社
所管局： 経済戦略局

年度目標（令和 7 年度）の達成に向けた取組

※百万円未満端数切捨て

実施事項・指標及び目標	これまでの取組及び成果※		今後の目標及び取組																
【実施事項】 1. 営業部門ごとの収益確保 オフィス部門 ➢ 新規テナントの誘致 ➢ オフィス環境の整備、テナント満足度の向上 【指標及び目標】 <table><tr><td>成果指標(単位)</td><td>6 年度実績</td><td>7 年度目標</td></tr><tr><td>営業利益</td><td>2,982 百万円</td><td>2,761 百万円</td></tr></table> 商業部門 ➢ 新規テナントの誘致 ➢ オフィス就労者、ホール利用者の利便性向上に向けた商業機能の強化 成果指標(単位) <table><tr><td>6 年度実績</td><td>7 年度目標</td></tr><tr><td>営業利益</td><td>395 百万円</td><td>358 百万円</td></tr></table> ホール部門 ➢ 貸館需要の獲得 ➢ ATC ギャラリーや特設会場を活用した多様なイベントの開催 成果指標(単位) <table><tr><td>6 年度実績</td><td>7 年度目標</td></tr><tr><td>営業利益</td><td>484 百万円</td><td>456 百万円</td></tr></table>	成果指標(単位)	6 年度実績	7 年度目標	営業利益	2,982 百万円	2,761 百万円	6 年度実績	7 年度目標	営業利益	395 百万円	358 百万円	6 年度実績	7 年度目標	営業利益	484 百万円	456 百万円	(これまでの取組内容) 営業部門での目標営業利益の達成への取り組み オフィス部門 ・万博関連を含むテナント誘致 ・入居率上昇に伴う入居区画の新設（区画の有効活用） ・即時入居対応による、什器の手配等のワンストップサービスの提案 商業部門 ・セレッソメガストア跡のテナント入居契約の獲得（企業ミュージアム「ふねしる」の開業） ・万博オフィシャルショップの誘致 ・上記テナント入居をはじめとした積極的な営業活動による、2024 年度末の入居率 100%の達成 ホール部門 ・特定天井脱落対策工事の完了による安全性向上 ・ATC ホール休館期間中、ATC ギャラリーや会議室の営業強化や有効活用による収益の確保 ・会議室 Web 予約の導入	(成果) ＜営業利益＞ オフィス部門 令和 6 年度 2,982 百万円（目標 2,811 百万円） 商業部門 令和 6 年度 395 百万円（目標 355 百万円） ホール部門 令和 6 年度 484 百万円（目標 242 百万円）	(今後の目標及び取組) ＜営業利益＞ オフィス部門 令和 7 年度 2,761 百万円 ・テナントアンケートによる課題抽出 ・仲介業者へのタイムリーな情報発信や内覧会の開催等によるセールス・プロモーション強化 ・万博テナント退去後の対応（テナント誘致、ワンストップサービス対応） ・既存テナントへの増床提案 商業部門 令和 7 年度 358 百万円 ・「ふねしる」への送客施策、連携強化など開業効果の活用 ・館内ビジネスサポート機能の充実（ドラッグストアの移設） ・近隣ホテルとの連携強化 ホール部門 令和 7 年度 456 百万円 ・2 年ぶりとなる ATC ホール夏休み催事「巨大恐竜展」の開催 ・ATC ホールに加え、ATC ギャラリーや特設会場の複合的活用による収益の拡大 ・会議室等のキャッシュレス決済の導入
成果指標(単位)	6 年度実績	7 年度目標																	
営業利益	2,982 百万円	2,761 百万円																	
6 年度実績	7 年度目標																		
営業利益	395 百万円	358 百万円																	
6 年度実績	7 年度目標																		
営業利益	484 百万円	456 百万円																	
【実施事項】 2. 特定調停に基づく債務の返済及び返済等のための資金の確保 ➢ 新規テナントおよび貸館誘致による営業収益の増加 ➢ 中長期保全計画の工事額圧縮 【指標及び目標】 <table><tr><td>成果指標(単位)</td><td>6 年度実績</td><td>7 年度目標</td></tr><tr><td>資金残高</td><td>5,219 百万円</td><td>5,215 百万円</td></tr></table>	成果指標(単位)	6 年度実績	7 年度目標	資金残高	5,219 百万円	5,215 百万円	(これまでの取組内容) ・万博関連オフィスや商業店舗のテナント誘致、ATC ギャラリーや会議室等の利用増、時間貸や月極契約の駐車場利用増による営業収益の確保 ・中長期保全計画の効率的な実施 ・館内照明 LED 化工事による電気料金高騰への対策	(成果) ＜資金残高＞ 令和 6 年度 5,219 百万円（目標 4,187 百万円）	(今後の目標及び取組) ＜資金残高＞ 令和 7 年度 5,215 百万円 ・複合施設の強みを活かした、集客力及び収益向上の取組強化 ・大型区画（ITM 棟 4 階西側）のテナント誘致や活用方法の検討 ・中長期保全計画工事（693 百万円）の効率的な実施（空調機更新工事（第 1 期）、エレベーター、エスカレーターの工事計画策定）										
成果指標(単位)	6 年度実績	7 年度目標																	
資金残高	5,219 百万円	5,215 百万円																	
【実施事項】 3. 公共部門の活性化 ➢ 新規出展者の獲得 ➢ 出展者、利用者ニーズに対応した展示場の活性化 【指標及び目標】 <table><tr><td>成果指標(単位)</td><td>6 年度実績</td><td>7 年度目標</td></tr><tr><td>出展者数</td><td>381 社</td><td>389 社</td></tr></table>	成果指標(単位)	6 年度実績	7 年度目標	出展者数	381 社	389 社	(これまでの取組内容) 輸入住宅促進センター（IHPC） ・東京国際家具見本市等での PR による新規出展の獲得と展示場の活性化 大阪デザイン振興プラザ（ODP） ・トークイベントや交流会を開催し、入所者、外部クリエイター・企業とのコミュニケーションの場の提供 ・入所者満足向上のため、ワークルームやミーティングスペースの改修を実施 エコプラザ ・環境・SDGs ゾーンや循環型社会形成ゾーンの拡充による市場ニーズへの対応 ・TEAM EXPO 自然・環境セッション等のイベント・セミナーの開催 エイジレスセンター ・介護生産性向上支援センター事業を大阪府から受託、6 月に開設 ・同センターのゾーンリニューアル	(成果) ＜出展者数＞ 令和 6 年度 381 社（目標 395 社） ○ 輸入住宅促進センター 115 社（目標 120 社） ○ 大阪デザイン振興プラザ 37 社（目標 47 社） ○ エコプラザ 128 社（目標 128 社） ○ エイジレスセンター 101 社（目標 100 社）	(今後の目標及び取組) ＜出展者数＞ 令和 7 年度 389 社 輸入住宅促進センター（IHPC）116 社 ・来場者および出展者へのアンケートによる展示場ニーズの把握及び分析 ・上記を活かした展示場の活性化及び出展営業強化 大阪デザイン振興プラザ（ODP）43 社 ・入所対象の拡大（AI やロボット関連のコンテンツ制作者や放送業関係者） ・「企業・経営相談会」の開催による入所促進 エコプラザ 129 社 ・万博のレガシー継承に繋がる活動を展開する企業の誘致や、団体見学の誘致強化、セミナー等での情報発信強化による展示場の活性化 エイジレスセンター 101 社 ・大阪府介護生産性向上支援センターの受託業務や新設した介護テクノロジーゾーンの展開による出展者誘致、展示内容の拡充										
成果指標(単位)	6 年度実績	7 年度目標																	
出展者数	381 社	389 社																	
【実施事項】 4. 集客数の増加 ➢ 自主催事のPR強化 ➢ 空き区画や屋外イベントスペースの積極活用 【指標及び目標】 <table><tr><td>成果指標(単位)</td><td>6 年度実績</td><td>7 年度目標</td></tr><tr><td>来館者数</td><td>646 万人</td><td>609 万人</td></tr></table>	成果指標(単位)	6 年度実績	7 年度目標	来館者数	646 万人	609 万人	(これまでの取組内容) ・住之江区や近隣の大学・企業との連携催事開催による ATC ファンづくりの推進 ・「咲洲子ども EXPO」（開催 12 回目）による地域の活性化と賑いの創出	(成果) ＜集客数＞ 令和 6 年度 646 万人（目標 587 万人）	(今後の目標及び取組) ＜来館者数＞ 令和 7 年度 609 万人 ・広報戦略の強化（LINE 会員の獲得） ・プロモーションライブやサブカルチャー関連催事による魅力づくりと賑わいの創出 ・住之江区やサキシマ meets 参加企業との連携強化による地域の活性化										
成果指標(単位)	6 年度実績	7 年度目標																	
来館者数	646 万人	609 万人																	